

日獨
戰役
軍艦
馬橋
機関
部
調査
事項

1427

第四部長

大正三年九月十三日

市川海軍艦政本部第四部長殿

戦役ニ関スル記録ノ件

艦政本部第七ニ依リ海軍會相成美今回戦役中
軍艦騎橋機関ニ関スル記録別冊一新葉面分トシテ

右送付ス

別冊 一部添

(終)

小澤

艦政本部第七ニ號ノ五六

12-16

海

軍

12-14

1428

戦後中軍艦駒橋機関部記録

一本艦大正参年八月拾六日軍艦籍ニ編入ナル是ヨリ先大正参年六月

ニ拾九日馬公ヨリ呉ニ回航スルヤ第二潜水艇隊母艇トシテ九記艦裝

換工事ニ着手ス

(イ) 格載モ救難用具一式ヲ陸揚ス(但シ機械室内ニ千噸救難用唧筒
機械ニ共ニ付トス)

(ロ) 甲板二區下ニ曰軍艦豊橋裝備セル七千立入カソリン罐四個ヲ

裝備シ之ガ冷却用灌水管カソリン室注水管及全室換氣

裝置(三馬力排氣用電動機
カソリン甲板ニ巨ニ裝備)ヲ裝備ス

(ハ) 潜水艇ニ次電池注液用蒸溜水採取ノ目的ヲ以テ機械室

入口ニ假木製蒸溜器及蒸溜水溜槽ヲ新設ス

(ニ) 課電用配電盤ニ自働遮断器裝備ナキヲ以テ之ガ設備ヲス

二、八月三十日呉工廠第一船渠ニ渠ト九記工事ヲ行フ(呉工廠)

(イ) 船底塗換

船底塗換ノ工

(10) 船体各部検査

(11) 各海水弁嘴摺り合せ

(12) 推進軸推進器検査塗換

三、各補助機械分解検査ヲテ課電用發電機調速器外敷庫

小修理ヲナス(吳五廠)

四、九月四日吳五廠第一船渠ヲ出渠航海準備ニ着手シ九月七日

廣島灣ニ於テ第一回試運轉ヲシ結果良好ナルヲ認ム

五、九月九日全工事竣工セルヲ以テ潜水艇ニ課電補氣試験ヲ行ヒ九

月拾一日廣島灣ニ於テ第二回試運轉ヲ施行ス機關状態一般

ニ良好ニテ全カ發揮ニ差支ナキモト認ム

六、九月拾二日潜水艇用「ガソリン」ニ万六千立ヲ搭載ス

七、九月拾五日依命横須賀ニ向ケ吳發十七日横須賀ニ入ル機

関各部状態良好ナリ

八、横須賀入港後、東京湾附近ニテ各種ノ訓練作業ニ従事セルニ
機関ハ頗ル良好ノ状態ニアルモ尚時機ヲ得バ小修理ヲ要スルモナル
ヲ認ム

九、拾月十八日「カワシ」ニ万九千三百三十立潜水艇ヨリ本艦ニ移載ス

一〇、拾月廿一日ヨリ横須賀工廠船渠ニ附属潜水艇、約二週間ノ

豫定ヲ入渠スルヲ機トシ本艦機関部、尤記小修理請求ヲセ

十一月廿四日ユ事ニ着手ス（横須賀工廠）

(1) 機関部

(一) 「ピルチ」支管ヲ曲肱坑ニ導キ事

貳個

従来「ピルチ」溜ハ機室前後部ニアリセシヨリ「ピルチ」引ク装置

ナルモ曲肱坑「ピルチ」ヲ完全ニ引ク能ハズ依ッテ一支管ヲ設ケ「ピ

ルチ」ヲ引ク様修理ヲ要ス

(二) 主機械曲肱前ニ安全圍ヲナス事 八個

從來由肱前二圍板より艦動揺、際機械各部、検査ニ危険
ニ付

(三) 茂電機及空氣壓搾機械、疏水管之疏水函ニ導キ

徑來疏水管、軸室船底ニ導キ 壹個所

アリ為メ清水ノ損失甚シキ事
(油環入り方止メテノ軸室ニ導キナラズニ
ナラズモ實際ニ甚シキ事)

(四) 機働船ノ罐爐内煉瓦 壹個所

燒損甚シキ事

(五) 蒸氣分離器水面計嘴 壹個所

手柄折損ニ付

(六) 第二號罐漏洩部 貳個所

罐前面主控條管取付部及鏡板ト胴板ト接手部ニ少許、漏

アルニ付

(七) 罐前泥板度圍板 四個

従来ノモ焼損ニ付

(ロ) 船体ノ部

(一) 軸室下部力骨ニ「ピル」通路トテ小孔ヲ穿ツ事

従来軸室下部力骨區劃間ニ「ピル」通路ナラシメ「ピル」

即筒ニ依事能ハズ常人手ヲ以テ「ピル」液ニツマリ斯クテハ

才大ノ人カヲ勞スルノミナラズ船体ノ保存上ト都合ト認ムルニ付

各力骨下部ニ「ピル」通路トテ小孔ヲ穿ツ可トス

(二) 前部「バラストタンク」ノ縦隔壁ヲ水密オラシムルタメ「セメント」ノ

塗換ヲナス事

従来ノ縦隔壁ハ水密不完全ナリ然ルニ本艦ハ艦ノ傾斜甚

シク「バラストタンク」ノ水ヲ落シ又ハ機働船揚卸ニ

際シ數度ノ艦傾斜ヲナス又ハ修正ヲナス道ナキヲ以テ自然

「バラストタンク」ニ依リ又ハ修正ノ道ヲ構セザル可カズ然ルニ

隔壁不完全ナル於テハ艦ノ傾斜ハ尤モ多ク急大ナルニ付
之レガ水密ハ最モ必要ト認ム
十二月九日全工事竣工ス (横須賀工廠)

1434